



平成28年1月12日

各位

上場会社名 株式会社 丸栄
 代表者 取締役社長 野原 太二雄
 (コード番号 8245)
 問合せ先責任者 常務取締役総務本部長 渡邊 克哉
 (TEL 052-264-1211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年10月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,100	10	△80	10	0.08
今回修正予想(B)	20,940	△300	△430	△400	△3.08
増減額(B-A)	△1,160	△310	△350	△410	
増減率(%)	△5.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	22,715	30	△103	△304	△2.35

修正の理由

第3四半期累計期間の売上高は、155億1千1百万円(前年同期比92.9%)となりました。これは、主たる事業である百貨店業における第3四半期累計期間の売上高が、134億4千8百万円(前年同期比91.9%)となったことなどによります。主力の衣料品販売が暖冬の影響により動きが鈍く苦戦したこと、また、低迷が続くヤングレディス売場も一部リニューアルをおこなったものの効果は限定的なものにとどまっていることが主な要因となっております。12月以降も暖冬が続いていること、また、ヤングレディス売場の追加リニューアルも来期以降になる見通しであり、引き続き第4四半期に影響がおよぶ見込みであります。また、堅調であるインバウンド需要に対応した大型新テナント等を平成28年3月に導入する予定であります。旧テナントは平成27年11月下旬から順次撤退しており、売場改装に伴う閉鎖期間の売上高の減少や固定資産除却損の計上等の影響が第4四半期におよぶこととなりました。以上のことから、業績予想を修正いたします。

以上